

地震や火災から、京の地域・すまいを守る

# 「まちの匠・ぷらす」京町家・木造住宅 耐震・防火改修支援事業

**対象の建物** 京都市内にある木造の一戸建て住宅、長屋  
※ 店舗等との併用住宅（居住部分の床面積が延べ面積の1/2以上のもの）を含む

**木造住宅** 昭和56年5月31日以前に着工 **京町家** 昭和25年11月22日以前に着工

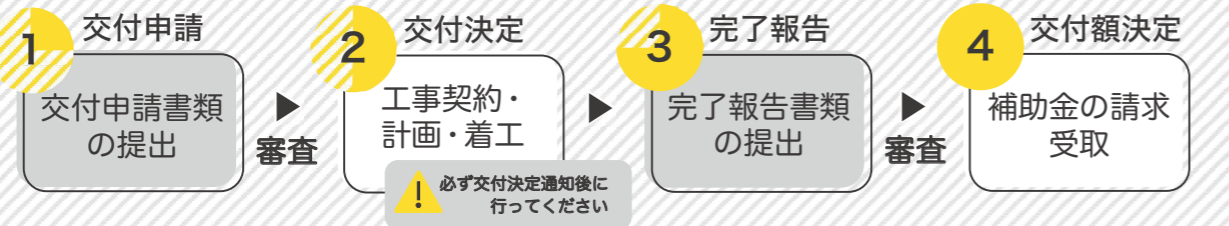
**対象者** 建物の所有者または居住者(予定を含む)  
※ 京都市内の事業者が、施工するもの

**申請期間** 2026年4月13日(月) から 2026年12月25日(金) まで

**申請方法** 京安心すまいセンターへ必要書類を持参または郵送

- 詳細は、京都市HPや京安心すまいセンターで配架の「申請の手引」をご覧ください
- すでに工事契約または着工している建物は補助対象外です

完了報告は  
2027年  
3月1日まで



## 問合せ・申請先



**電話** 075-744-1631 **開館時間** 午前9時30分～午後5時  
**FAX** 075-744-1637 **休館日** 水曜・祝日・第3火曜  
 及び年末年始(12/29～1/4)  
**所在地** 〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅津町83番地の1  
 (河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」地下1階  
**バス** 市バス 4・7・205号系統 **電車** 京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分  
 地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分



京安心すまいセンターでは補助金の受付だけでなく、専門知識を持つ団体を紹介するなど、耐震改修工事等のご相談も受けています。お気軽にご連絡ください！



制度の詳細は **京都市 まちの匠 Q** で検索！

## あわせて利用できる制度があります！

**すまいの耐震無料相談会**  
耐震に関するお悩みを無料で建築の専門家に相談できます！詳細 ▶ **京都市 耐震 相談会 Q**

**京都に住むっ！**  
京都安心すまい応援金  
令和9年度まで!!  
子育て世帯の「京都に住むっ！」を応援！

「まちの匠・ぷらす」とあわせて  
最大 **500** 万円  
**京都安心すまい応援金**  
未就学の子どもがいる世帯が既存住宅を購入してリフォームし、居住された場合に応援金を最大200万円を交付します！  
詳細 ▶ **京都安心すまい応援金 Q**

耐震・防火改修補助金の増額は今年限り！必ずご利用ください！



# まちの匠・ぷらす

今年こそは  
すまいの耐震化！  
耐震・防火改修  
工事費を補助します

MACHINO TAKUMI+

令和8年度が最後！

## 期間限定

## 「まちの匠・ぷらす」が1年延長

令和8年度  
申込期間 2026年4月13日(月) ▶ 2026年12月25日(金)

本格改修 最大 **200** 万円  
木造住宅  
屋根の軽量化など  
簡易改修 最大 **40** 万円

最初のいちを守るといえる

本格改修 最大 **300** 万円  
京町家  
土台や柱の修繕など  
簡易改修 最大 **60** 万円



**075-744-1631**  
午前9時30分～午後5時 / 水曜・祝日・第3火曜 及び年末年始は休館

# 改修 工事の事例

## 補強・軽量化工事

参考 木造住宅と京町家の違い

**木** 一般的な木造住宅 (昭和56年以前)  
一般的な構造の建物。筋かいや金物などで建物を堅くし、地震に耐えます。

**京** 京町家 (昭和25年以前)  
伝統的な構法の建物。柱や梁の木組みと、土壁の粘り強さで地震に耐えます。



木 京

### ▶ 屋根を軽くする工事

屋根が重いほど地震の時に建物の揺れが大きくなります。瓦の下にある土を取り除き、軽い屋根材に替えると揺れが小さくなり、建物が倒れる可能性が減ります。

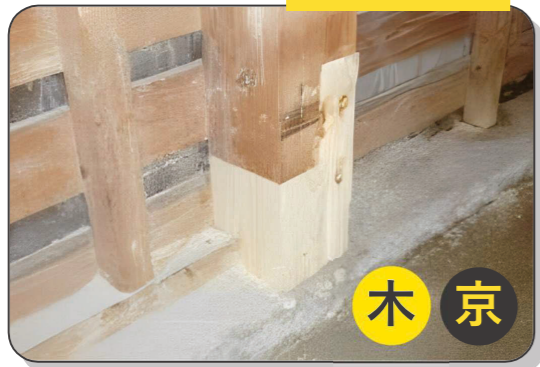


木

### ▶ 強い壁を設置する工事

既存の壁に筋かい(柱と柱の間に取り付ける補強材)や金物、壁がない箇所にバランスよく耐力壁(地震に強い壁)を設置することで地震の時に建物の変形を小さくします。

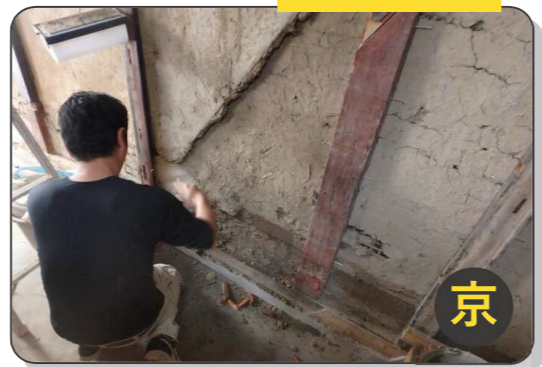
## 劣化した箇所の修繕



木 京

### ▶ 湿気やシロアリ被害により傷んだ柱や土台を交換する工事

木材は腐ると本来の力が発揮できず、耐震性能が大きく低下します。修繕をして耐震性能を回復させましょう。



京

### ▶ 劣化した土壁を塗り直す工事

京町家は柱と梁、土壁の粘り強さで地震に耐えます。古い土壁を塗り直すことで本来の耐震性能を回復します。

## 耐震シェルター等



### ▶ 耐震シェルターの設置

部屋の中に頑丈なシェルター(避難空間)を設置し、建物が倒壊しても命を守る空間を作ります。

### ▶ 感震ブレーカーの設置

震度5強以上の地震を感知し、自動でブレーカーを落とすことで通電火災\*を防止します。  
※ 地震による停電後、電気が復旧した際に発生する火災



事例集はこちら



## 防火改修

# 補助 対象工事と上限額



詳細はホームページ「申請の手引」から

- ① 補助対象工事費用の 4/5
  - ② 補助限度額
- ①② いずれか少ない方の額が補助金額  
※ 本格改修は、改修前後の耐震診断が必要です

本格改修	木造住宅	京町家
● 現在の耐震基準に適合 (構造評点1.0以上)	200万円	300万円
● 一定以上の耐震性能を確保 (構造評点0.7以上1.0未満)	100万円	150万円
● 耐震性能が従前よりも向上 (壁の設置や屋根の軽量化等)	80万円	100万円

防火・準防火地域のみ  
必須 防火改修

本格改修は代理受領制度の対象です。工事費と補助金の差額をご用意いただければ、一旦全額を立て替える必要がありません。

簡易改修	木造住宅	京町家
● 屋根型 ● 屋根の軽量化 ● 構面強化	最大 40万円 20万円	最大 60万円 30万円
● 床型 ● 2階床組の強化 ● 小屋組の強化	5万円	10万円
● 壁型 ● 金物の設置 (木造住宅) ● 土壁の修繕 (京町家)	5万円	10万円
● 足元型 ● 土台、柱又は基礎の劣化修繕 ● 有筋の基礎の増設 (木造住宅) ● 柱脚部の補強 (京町家)	10万円	10万円

耐震診断をして金額アップ!

シェルター等	工事内容	上限額
	● 耐震シェルターの設置	40万円
	● 防災ベッドの設置	40万円

密集市街地 該当区域は こちらから

防火改修	木造住宅	京町家
● 軒裏の防火改修	20万円	20万円
● 開口部の防火改修	1.5万円/㎡	20万円
● 長屋の界壁の防火改修	20万円	20万円

受付件数増! 密集市街地 最大7万円!

● 感震ブレーカーの設置	5万円
● 外壁の防火改修	20万円
● 木製防火雨戸の設置	5万円/㎡